



portfolio Youri
enoui

ステートメント

一つの風景の中には、さまざまなものが交差し、重なり合いながら存在している。

自然、人工の物、人。そうした異なる要素が交わるとき、そこには新しい価値

や美しさが生まれると考えている。

生まれ育った多摩ニュータウンには、自然がつくる稜線と、都市化を象徴する

コンクリート建築の直線が共存していた。都市と自然の境界線、その重なり合

いを起点に、異質なものの同士の「間（あわい）」をかたちにしている。

無機質な素材に、有機的なかたちや質感を与える行為は、単なる造形の試みで

はなく、新たな関係性や視点の広がりを生むための問いかけでもある。

井上 悠理



東京・多摩ニュータウン

造形作家

井上 悠理 | INOUE YOURI

東京都生まれ。2018 年武蔵野美術大学工芸工業デザイン学科金工専攻卒業、2020 年同大学院修了。

現在は東京郊外に工房を構え、制作活動を行う。

都市と自然が重なり合う風景から着想を得て、コンクリートや金属を用いた立体作品を制作・発表している。

【主な作品設置・コレクション】

NOZO HOTEL（北海道）

チャームプレミア代々木初台、チャームプレミアグラン松濤 ほか

プライベートヴィラ「Grand Bleu Gamin」（沖縄）

サークルクリニック茅ヶ崎（神奈川）

【受賞歴】

2020 年武蔵野美術大学修了制作優秀賞

2019 年「第三回宝龍芸術大賞」三等賞

【主な展示歴】

2026「交わりの風景」（東京）

2024「SICF25 EXHIBITION 部門」SPIRAL（東京）

2023「造物者 | 日本当代艺术家器物作品展」山上艺术空间（中国・福建省）

2023「SICF24 EXHIBITION 部門」SPIRAL（東京）

2021「some more.」Grand Bleu Gamin（沖縄）

Website | youriinoue.com

Instagram | [@youri_inoue](https://www.instagram.com/youri_inoue)

Email | contact@youriinoue.com



OBJECT

CONTENTS

OBJECT

LIGHTING

PROCESS & MATERIALS

COMMISSIONED WORKS

EXHIBITION VIEWS

SMALL WORKS

PRODUCTS



兆し

W55 D55 H450 mm
モルタル、アルミニウム
2025



the pillar of phenomenon

W115 D115 H1100 mm
モルタル、アルミニウム
2020



浮標

W90 D90 H360 / 他複数
モルタル、ステンレス、コルク、着生植物
2023



時の恵みをのせて

W400 D280 H650 mm
モルタル、アルミニウム
2024



光脈

W140 D80 H1030 mm
アルミニウム
2024



軌跡

W180 D150 H540 mm
モルタル、アルミニウム
2025

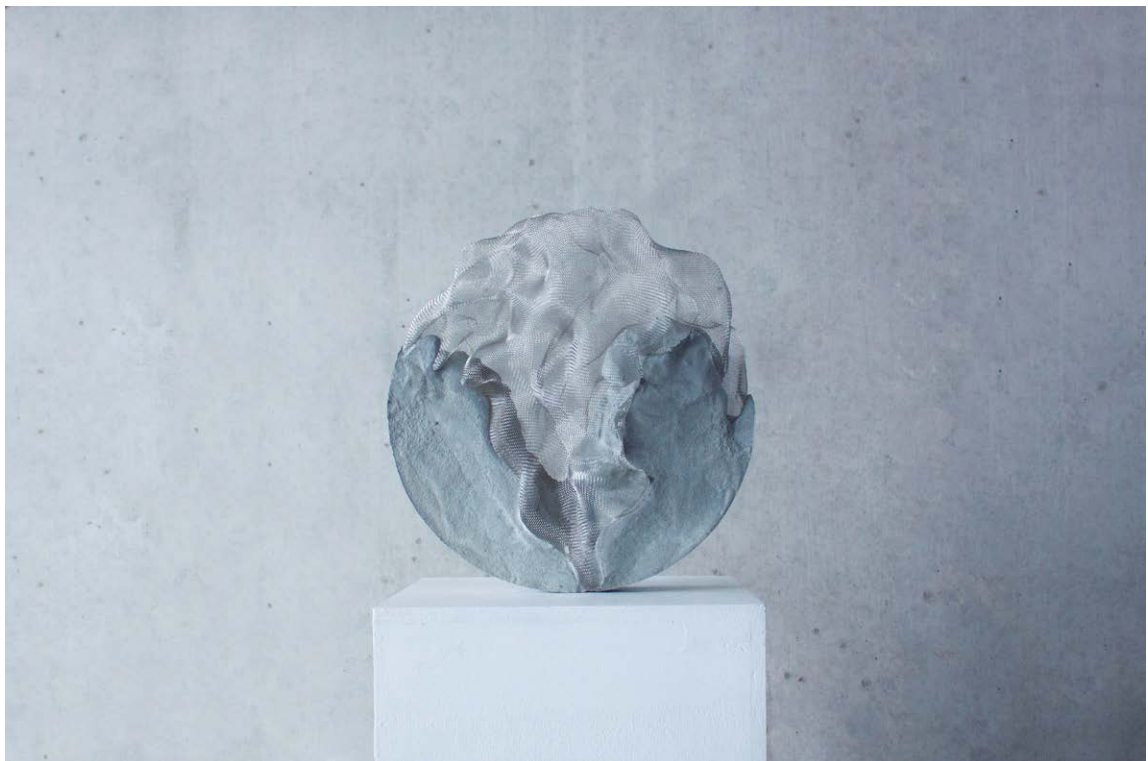


風の踊り

W205 D175 H430 mm
モルタル、アルミニウム
2025



frame_01
W440 D140 H370 mm
モルタル、銅
2018



misty
W320 D60 H340 mm
モルタル、メッシュ
2019



灯りの像

W170 D140 H440 mm

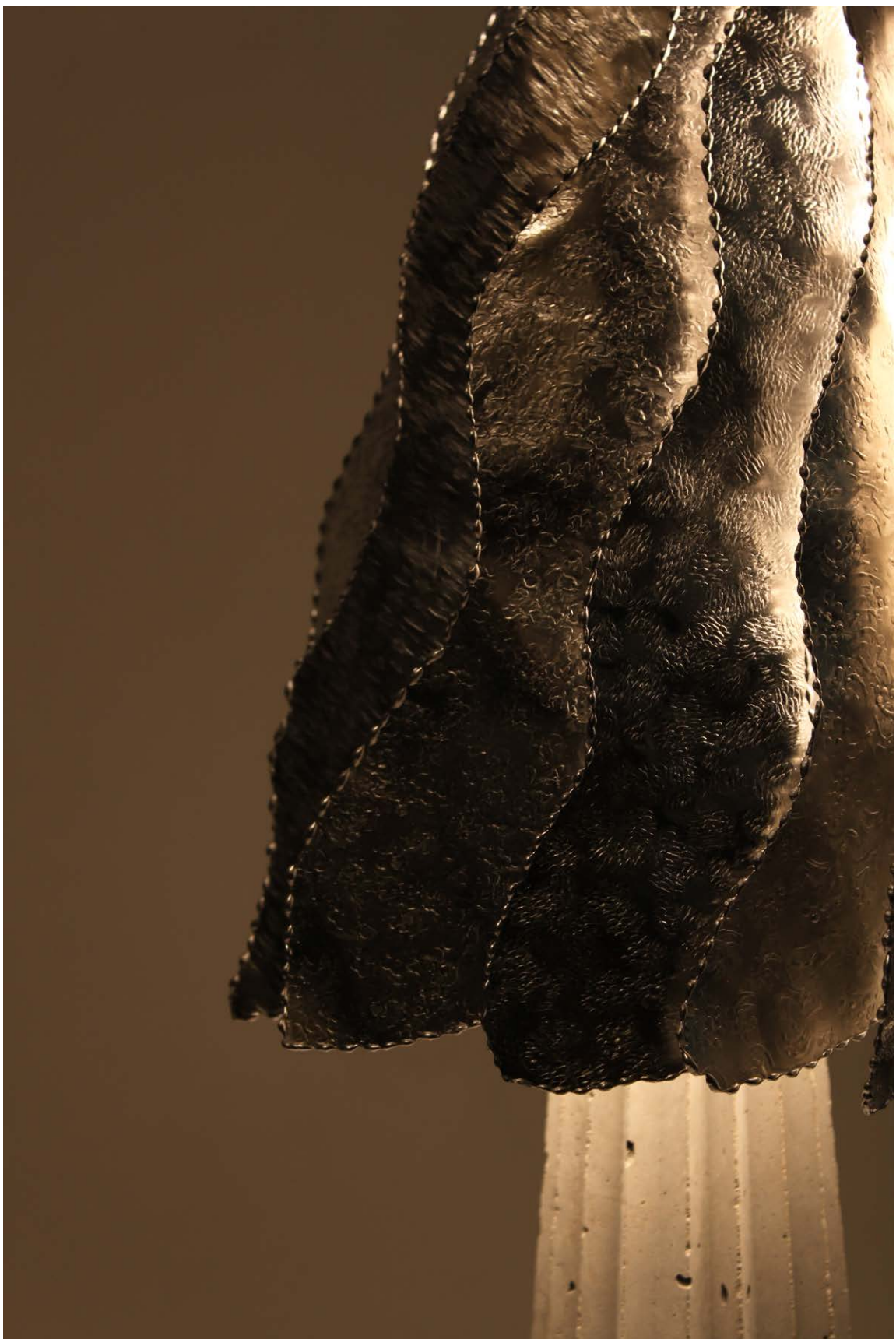
モルタル、アルミニウム、LED

2026



stitched light

W230 D230 H620 mm
 モルタル、アルミニウム、ステンレス、LED
 2026





filled light i
W90 D90 H190 mm
モルタル、銅、LED



光路 i
W100 D100 H380 mm
モルタル、LED
2025



光路 ii

W80 D80 H420 mm

モルタル、アルミニウム、LED

2026

MATERIALS & PROCESS

日常風景の中で見つけた形や現象、素材への関心を起点に制作を始める。
試作を繰り返しながら、なぜその形や変化が生まれるのかを観察し、特性を探っていく。

〔金属〕
作品ごとに、金属の硬質さと可塑性を生かす技法と材質を選択している。
叩く・曲げる・切る・溶接するなどの作業を通して、金属の振る舞いと表情の変化を探る。

オリジナルハンマー



表面にテクスチャーを施す



板のエッジを溶かす



何枚も重ねて接合しひとつのパーツが出来上がる

〔七宝〕
金属の表面にガラス質の釉薬を焼き付ける技法。
一般的な色ガラスではなく、透明な釉薬を用いることで、ベースである銅の色彩や質感が現れる。



焼成温度によって銅は、赤やオレンジへとわずかに変化し、ひとつひとつ異なる景色となる。

〔モルタル〕
建築材料として用いられるモルタルを素材として扱う。
独自の型枠や骨材の組み合わせにより、有機的な曲面や表情を持つ造形を試みている。



オブジェ作品「浮標」模型
紙模型による検証と試作を繰り返しながら、滑らかな曲面を持つモルタルをかたちにした。



SICF24「__共鳴」

スパイラル / 東京

2023年5月5日ー7日



SICF25「時の庭」

スパイラル / 東京

2024年5月5日－7日



個展「交わりの風景」

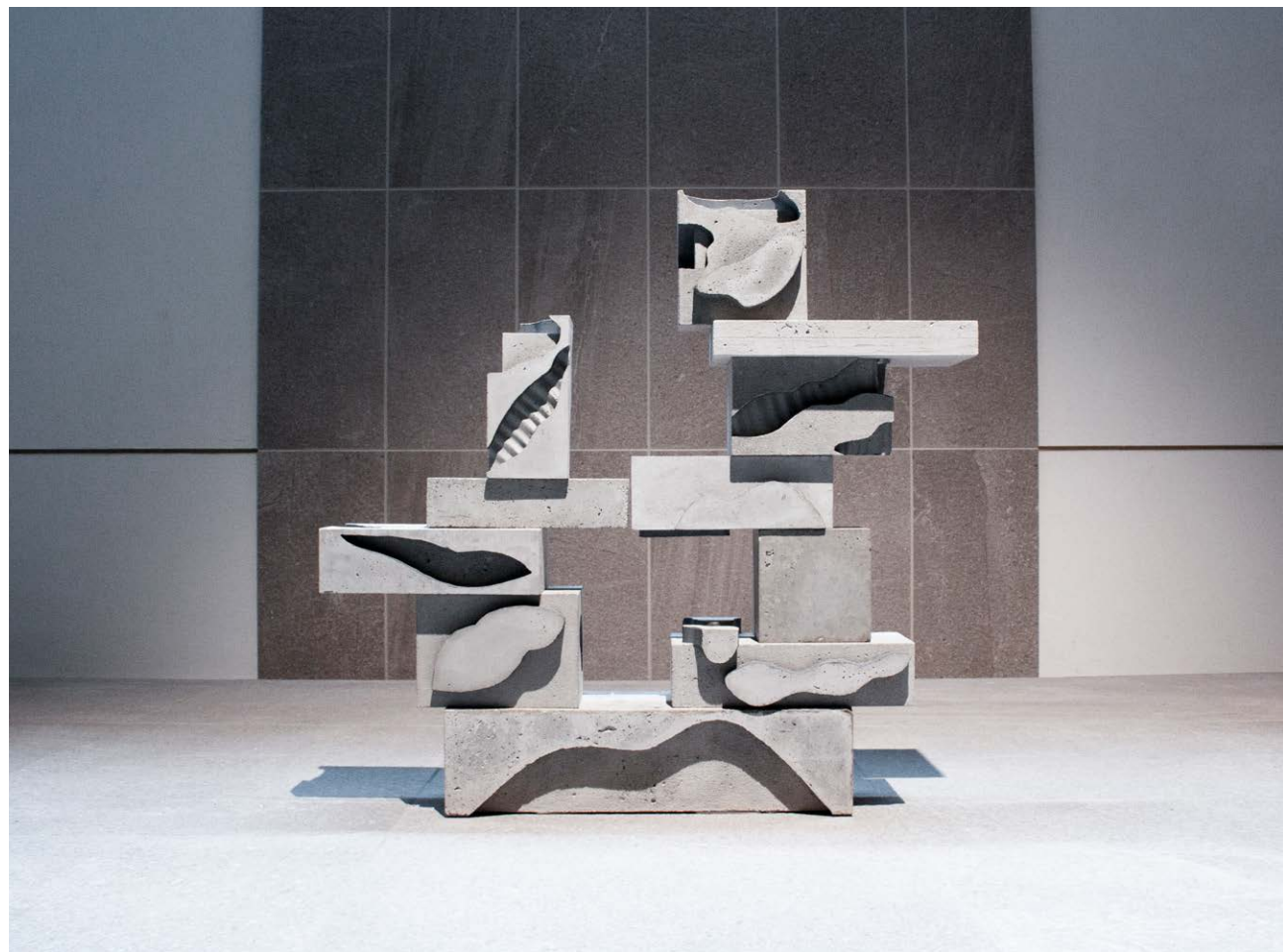
東京

2026 年 5 月 21 日－ 26 日





the pillar of phenomenon
NOZO HOTEL 富良野
W150 D150 H1350 mm / W125 D125 H1050 mm
モルタル、アルミニウム、ステンレス、植物
2023



stacked i / stacked ii

チャームプレミアグラン御殿山

W730 D170 H770 mm / W695 D170 H700 mm

モルタル、ステンレス

2021





geometry of nest (共作)

福祉施設

W370 D360 H370 mm / 他複数

モルタル、フェイクグリーン、ワイヤー

2020

作品「交じりあう」をもとに、クライアントとの対話を重ねながらシガートレイ・アッシュトレイへと展開。

造形を用途に応じて再構成し、沖縄・宮古島のプライベートヴィラ「Grand Bleu Gamin」に設置。



交じりあう

W330 D60 H210 mm / 他複数

モルタル、銅

2018



enamel tray

W115 D110 H50 mm / 他複数

モルタル、銅、七宝

2019



IORI
 チャームプレミアグラン南麻布
 W220 D120 H300 mm
 ホワイトモルタル、箔、顔料
 2021



連なる刻：ベンチ

個人宅

W720 D200 H300 mm

モルタル、木

2026

SMALL WORKS



月の水面
W155 D50 H45 mm / 他複数
モルタル、アルミ
2026



trace of the view
W150 D140 H260 mm
モルタル、銅、七宝
2024



浮巢
W80 D55 H75 mm
モルタル、ステンレスメッシュ
2026



melt cube
W80 D80 H80 mm
モルタル、銅
2019

melt cuboid
W60 D50 H150 mm
モルタル、銅
2019



舟殻
W290 D90 H105 mm
モルタル、アルミ
2026



とまり木
W160 D100 H230 mm
モルタル、銅
2024

PRODUCTS



モルタルや金属を使った
日々の暮らしを豊かに彩るもの